ちゅら日和 vol.4

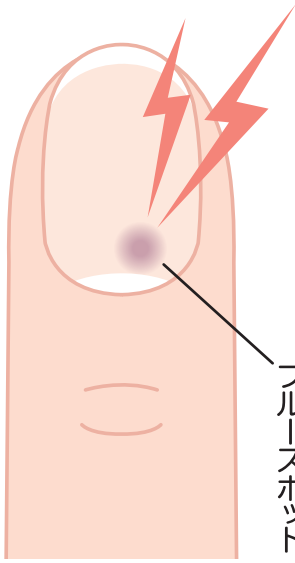
冷えると指の爪が痛みます

グロームス腫瘍の疑いがあります

たいら手の外科・整形外科

http://taira-tenogeka.com/

グロームス腫瘍



指の爪に痛みが生じる「グローム ス腫瘍」。足の指や指の腹側にできることもあります

指の爪に痛みが生じる〝グロームス腫瘍〟について「たいら手の外科・整形外科」の平良貴志先生に聞きました。

―グロームス腫瘍とは？

「指の爪の下にできる、大きさ数㎜程度の良性の腫瘍です。爪の下に内出血したような青い痕（ブルースポット）を認めることや、爪に溝が生じることもあります。ピンポイントで押さえると痛みがあり、腫瘍のある爪をぶつけると激痛を感じることがあります。冬になって寒くなると痛みが出ることが多くなり、洗い物などで冷たい水に指をつけることでも痛みが強くなります。逆に、夏場は痛みが軽くなるため、発症から何年も放置してしまう人もいます」

―診断方法は？

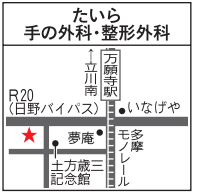
「超音波検査やＭＲＩで腫瘍を確認して診断します。腫瘍が大きくなるとレントゲンで骨がえぐれるような所見を認めることもあります」

―治療法は？

「局所麻酔で手術を行います。腫瘍直上の爪をコの字状に窓をあけて腫瘍を摘出し、爪をもとに戻します。術後は炊事を行う際にゴム手袋などを装着して、傷口を汚さないようにします。流水での手洗いは可能です」

院長:平良貴志
日本整形外科学会認定
整形外科専門医

☎042-587-5530
日野市石田2-9-17
多摩モノレール「万願寺」駅
下車徒歩3分



休診日:金・日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	／	●	／
14:00～17:30	●	●	●	●	／	●	／

2017年1月7日付「リビング多摩」に掲載されました